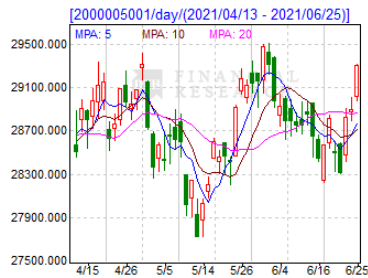


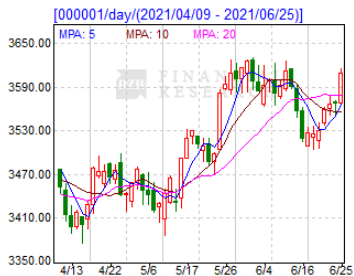


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,433.84	237.02	0.69	3.44	12.51	30,606.48
NASDAQ	14,360.39	-9.32	-0.06	2.35	11.42	12,888.28
日経225	29,066.18	190.95	0.66	0.35	5.91	27,444.17
上海総合	3,607.56	40.91	1.15	2.34	3.87	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,239.97	83.99	1.63	2.69	0.55	5,211.29
ハンセン	29,288.22	405.76	1.40	1.69	7.55	27,231.13
中国企業	10,878.45	201.14	1.88	2.18	1.30	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.7%高と4週ぶりに反発、上海総合指数は2.3%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.7%高と4週ぶりに反発した。週前半はパウエルFRB議長の議会証言を前に様子見ムードが強く続落したが、議会証言を受けて利上げの前倒し観測が後退。週後半はNY市場の上昇を好感して買い戻しが入り、ハンセン指数は25日に節目の29000ポイント台を回復した。本土市場では上海総合指数が週間で2.3%高と4週ぶりに反発。週初から週末25日まで5日続伸と堅調に推移し、25日には節目の3600ポイント台を回復。本土市場の売買代金は連日で1兆円を超える大商いが続いた。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、週末にかけて慎重姿勢が強まる公算

香港市場は上値の重い展開か。米国での利上げ前倒し観測の後退は追い風だが、週末に米雇用統計の発表を控えていることから、週末にかけて慎重姿勢が強まる公算が大きい。雇用統計が強い内容だった場合には早期利上げへの警戒感が高まることになるため、週後半は見送りムードが強まりそうだ。30日に発表される中国の製造業PMIにも注目が集まる。なお今週は7月1日が休場のため4日間の取引となる。本土市場も上値の重い展開か。上海総合指数が3600ポイントを回復したことで利益確定売りが出やすくなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 信義光能(00968)	16.42	9.91
2 美团(03690)	330.00	9.78
3 ペトロチャイナ(00857)	3.91	9.22
4 吉利汽車(00175)	26.05	8.54
5 薬明生物技術(02269)	142.30	7.72
6 碧桂園服務(06098)	81.95	7.40
7 CNOOC(00883)	9.20	6.24
8 瑞声科技(02018)	57.95	4.70
9 チャイナ・モバイル(00941)	49.50	4.54
10 アリババ集団(09988)	215.60	4.15

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 海底撈国際(06862)	36.95	-6.46
2 小米集団(01810)	27.80	-3.47
3 サンス・チャイ(01928)	33.05	-2.94
4 龍湖集団(00960)	44.75	-2.93
5 中国海外発展(00688)	18.34	-2.76
6 万洲国際(00288)	6.92	-2.67
7 銀河娛樂(00027)	60.70	-2.65
8 HSBC(00005)	46.10	-2.33
9 長江インフラ(01038)	47.15	-1.98
10 恒基兆業地産(00012)	37.65	-1.95

▼今週の主なイベント

- 6月30日(水)
- 【中国】製造業PMI(6月)
- 7月1日(木)
- 【香港】香港特別行政区設立記念日で休場
- 7月2日(金)
- 【米国】雇用統計(6月)

▼今週の期待材料

- ◆パウエルFRB議長の議会証言を受けて米国の利上げ前倒し観測が後退、好調なNY市場も追い風に
- ◆中国国家統計局が30日に6月の製造業PMIを発表、強い内容だった場合には景気回復期待が高まる公算
- ◆中国人民銀行の公開市場操作で先週は差し引き500億元の資金供給、供給超過は6週間ぶり

▼今週の懸念材料

- ◆7月2日に6月の米雇用統計発表、予想以上に強い内容だった場合には早期利上げ観測再燃へ
- ◆香港市場は7月1日に香港特別行政区設立記念日で休場、6月30日は相互取引を通じた南向き取引も休場
- ◆中国国家統計局が発表した5月の工業企業利益は36.4%増、4月の57.0%増から大きく減速

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国ガス (00384) : 28日に21年3月本決算を発表、市場予想は20%増益
- ☆ 深セン控股 (00604) : 5月の不動産販売額が23%増加、販売面積は76%増
- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : シンガポール政府系投資会社GICが株式買い増し
- ☆ ペトロチャイナ (00857) : 原油高で業績期待高まる公算、WTIは2年8カ月ぶり高値
- ☆ 石薬集団 (01093) : 子会社開発の関節リウマチ薬、中国当局が医薬品登録を承認
- ☆ 融創中国 (01918) : 銀行団から3.5億米ドルの融資枠を獲得、債務返済に充当
- ☆ 李寧 (02331) : 21年6月中間決算は大幅増益の見通し、売上高は6割超増加
- ☆ 中信証券 (06030) : ファンド投資顧問業務の試験営業、中国証券当局が認可
- ◇ 同程芸龍 (00780) : eスポーツホテルの愛電競酒店と戦略提携、数千万元を出資
- ★ 吉利汽車 (00175) : 上海の新興企業向け市場「科创板」への上市申請を撤回

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。